

Support



<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

NO.3

令和5年10月4日

編集・発行

学校支援課 広報担当

Report -授業事例-

資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」へ
 計画訪問より…キーワードは「単元で育成」「アウトプット」「振り返り」「ICT」、
 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

幼稚園 ねらい 「泡の感触を味わい、面白いと感じたことを繰り返したり、教師や友達に思い付いたものに見立てたりするなど面白いと感じたことを繰り返して遊ぶ」

園児の実態に応じた環境構成、教師の適切な援助（一緒に遊ぶ、促す、見守る等）により、園児が自分でやりたいことを選びながら、どっぷりと遊びに没れる姿が見られました。



あわで遊ぶのたのしいね！
フワフワしていて気持ちいいね！



きれいな色だね！
いろいろ試してみよう！



いろいろな色があるよ。
あっちに行ってみようよ！



みんな見て見て！
〇〇ちゃんの、とっても
おいしそうに見えるよ！！

小学校4年 図工 単元「まぼろしの花（鑑賞学習）」

自分で選んだ場所に、自ら作成した作品を飾る前と飾る後との写真を比較したり、感じたことを交流したりすることを通して、自分の作品の新たな良さを感じ取る子どもの姿が見られました。



みんなの作った「まぼろし
の花」をいろいろな場所で咲か
せてみましょう！！



植込みの奥に作品を飾ると、
なんだか印象が変わるなー。



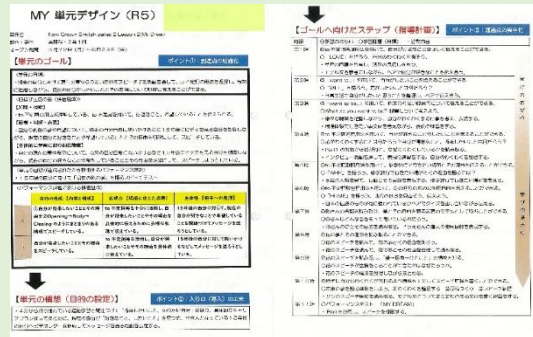
日に当たると、作品の
見え方が全然違うね！！



グラウンドに飾ったら、光
が反射してとてもきれい！

中学校 全校一体で取り組む単元デザインシートの作成

公開されたすべての授業で、「MY 単元デザイン」と題し、単元計画が示されていました。子どもの思考の流れを大切に、ストーリー性のある単元づくりがなされていたため、主体的に学ぶ姿が見られました。



新潟市では、教育の情報化ビジョン（右図）のもと、学習の基盤の資質・能力である「**情報活用能力**」を育成します。子どもたちがiPadを「文房具」として使いこなし、**生涯にわたって自ら学び続ける力**を育成します。



新潟市が育成を目指す6つの情報活用能力

① 情報を集める力



ロイロ「共有ノート」上で友達の考えを自由に参照しながら、自分のペースで学びを進めています。



自分で調べて、選択したイラストを使って、作品のイメージを膨らませて作成しています。

② 情報を整理・分析する力



デジタル思考ツールで考えを整理しています。思考ツールを自己選択できる力も育みます。



クラウド上にあるデジタルデータを自己選択し、必要な情報を取り出し、活用できる力を育みます。

③ 情報を伝える力



発表ツールを自分で選択し、共同編集機能で、試行錯誤しながら、スライドを共同製作しています。

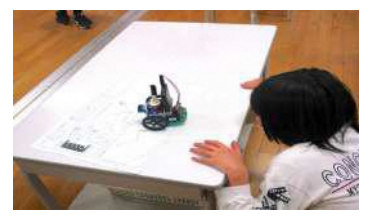


Googleスライドで、課題や解決過程を互いに共有しながら、協動的に学びを進めています。

④ プログラミングの能力



micro:bitを活用し、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けます。



身近な問題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、実際にプログラミングを体験させています。

⑤ 操作する技能

国で議論が進められている学力調査や大学入試のCBT化に対応できる**ハードウェアキーボードによる文字入力**を意図的に取り入れましょう。

【1分間あたりの文字数】

- 高等学校 60字以上
- 中学校 50字以上
- 小高学年 40字以上
- 小中学年 20字以上
- 小低学年 簡単な文



ローマ字表を見ながらタイピング（小2児童）

⑥ 情報モラル・デジタルシティズンシップ



家庭学習の計画や学習時間をGoogleカレンダーやアプリで自覚し、自己調整しています。



チェック表で自分の取り組みを振り返り、見通す

各校の実態把握や指導計画に、新潟市「情報活用能力」の育成指針（L-Gate内）をご活用ください。

